

パワーアップして登場！

「テルマエ・ロマエツアー^{II}」

～大塚国際美術館で古代ローマへタイムスリップ～

大塚国際美術館（館長：大塚一郎、所在地：徳島県鳴門市）では、映画化第二弾が待たれる人気コミック『テルマエ・ロマエ（原作：ヤマザキマリ エンターブレイン刊）』の舞台である古代ローマ時代の人々の暮らし、食事、娯楽、宗教観など、絵画を巡りながら紹介するギャラリートークを2012年4月より開催しています。これまで3000人以上が参加する人気ツアーです。

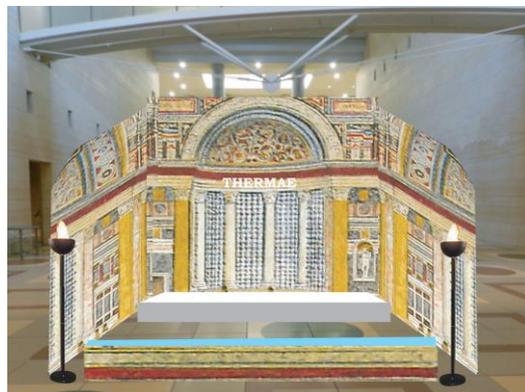
そのツアーが2014年「テルマエ・ロマエII」の映画公開にあわせパワーアップします！トーク内容の充実のほか、参加者には古代ローマ人の服「トガ」を着用してツアーに参加いただけます。また、古代ギャラリー入口には古代ローマ建築を模した空間が登場し、当時のテルマエ（風呂）の様子を知ることでもでき、記念撮影も可能です。

風呂文化により、時を超えて繋がる古代ローマと現代日本。
『テルマエ・ロマエ』の主人公ルシウスは、古代ローマから現代日本へタイムスリップし、数々の驚きを体験します。本ツアーでは、現代を生きる私たちが逆に2000年前にタイムスリップ！古代ローマの芸術的な豊かさは、現代人の目からみても価値を失っていません。作品にみられる当時の日常生活を垣間見ることで、その豊かな感性に驚き、また共感していただけのものと考えています。

報道関係の皆様におかれましては、ご多忙と存じますが、「テルマエ・ロマエツアーII」をぜひご取材いただきますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。



ガイドが古代ローマ人の服トガを着て案内する、ツアーの様子。
今回からは、参加者にもトガをご用意！



古代建築空間のテルマエ（風呂）のイメージ
※この写真はイメージであり、実際とは異なる場合があります。予めご了承ください。

【テルマエ・ロマエツアーⅡ概要】

- 開催日 4月26日(土)～開催
(4月26日～5月6日は毎日開催します)
※5月6日以降のスケジュールは美術館ウェブサイトにてご確認ください
- 開始時間 12:00
- 集合場所 B3階システィーナ・ホール横
- 定員 20名(事前予約可)
- 所要時間 40分程

🌀「テルマエ・ロマエツアーⅡ」のポイント

- ギリシア、ローマの作品130点を展示する「古代展示コーナー」を中心に『テルマエ・ロマエ』のエピソードに関連した作品を美術館スタッフがご案内。内容もバージョンアップします。
- 参加者には古代ローマ人の服「トガ」をご用意。衣裳を着用してツアーに参加することで、より臨場感を持って楽しめます
- 古代ギャラリー入口に古代ローマ建築を模した空間が登場。します。テルマエ(風呂)を抜けると古代ギャラリーが広がり、タイムスリップしたような気分！写真撮影もできます。



古代ローマ人の服「トガ」のイメージ

ご参考

🌀映画「テルマエ・ロマエⅡ」公開！

『テルマエ・ロマエ(原作:ヤマザキマリ エンターブレイン刊)』は、古代ローマと現代日本という時空を超えた空間を「風呂」という普遍的な文化を通じて描く、シリーズ累計900万部を突破のベストセラーコミックです。

2012年4月に実写映画化され、興行収入59.8億円という歴史的な大ヒットを記録しました。第二弾となる「テルマエ・ロマエⅡ」は4月26日(土)〈よい風呂の日〉に公開されます。

🌀「テルマエ・ロマエツアーⅡ」紹介作品の一部

「秘儀の間」(秘儀荘、ポンペイ、イタリア)

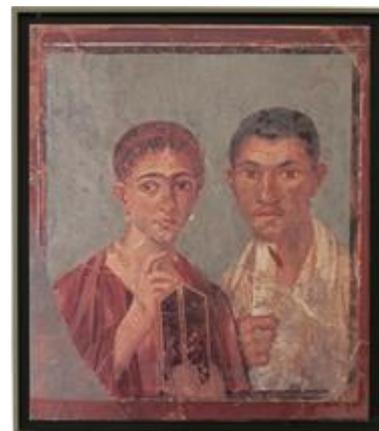
秘儀の間は、西暦79年のヴェスヴィオ火山の噴火で火山灰の下に埋まってしまったポンペイ遺跡にある別荘。秘儀の間がある裕福な農家の別荘にも浴場は完備されていました。現地ではもう中に入る事のできない部屋を原寸大で再現しています。



「パン屋の夫妻」

(ナポリ国立考古学博物館、イタリア)

古代ローマ人の男女の肖像画。ポンペイから発掘されました。
『テルマエ・ロマエ』では現代日本にタイムスリップしたルシウスが日本人を「平たい顔族」と呼びますが、確かに日本人と比べるととても彫りの深い顔立ち。
男性の着ている服はトガと呼ばれる古代ローマの正装です。
ツアーでは古代ローマの服装もちょっと詳しく紹介します。



「剣闘士の戦い」

(パエストゥム国立考古学博物館、

イタリア)

兜を被った二組の剣闘士が大きな丸盾を構えて、血を流しながら戦っている様子が描かれています。

映画ではグラディエーター（剣闘士）を癒すテルマエ（風呂）建設を命じられるルシウスですが、この作品からは当時の剣闘士たちの決闘の様子をうかがい知ることができます。



モネの「大睡蓮」

(オランジュリー美術館、フランス)

『テルマエ・ロマエ』の舞台である、西暦130年頃を統治していたのは、第14代古代ローマ皇帝、ハドリアヌスです。

ハドリアヌスはギリシア文化や芸術をこよなく愛し、ローマ近郊のティヴォリに美しい別荘を建設し、ギリシア時代の作品のレプリカをたくさん飾り楽しんだといわれます。

当館の屋外展示：モネの「大睡蓮」は、このハドリアヌス帝別荘の「海の劇場」をモデルにデザインされました。

【上】 当館の屋外展示：モネの「大睡蓮」

【下】 第14代古代ローマ皇帝、ハドリアヌス帝別荘 ヴィラ・ティヴォリの「海の劇場」（イタリア）

◇ 大塚国際美術館とは ◇

渦潮を臨み緑豊かな鳴門公園に位置する「大塚国際美術館」。古代壁画から世界 25 ヶ国 190 余の美術館が所蔵する現代絵画まで、1,000 点を超える世界の名画を特殊技術によって、原寸大の陶板で忠実に再現しています。約 4km に及ぶ鑑賞ルートには、古代遺跡や礼拝堂を現地の空間そのままに再現した立体展示のほか、レオナルド・ダ・ヴィンチ「最後の晩餐」、ゴッホ「ヒマワリ」、ピカソ「ゲルニカ」など、美術書などで一度は見たことがあるような名画を美術史の流れに沿って展示しています。

なかでも、ミケランジェロが描いた天井画と正面祭壇壁画「最後の審判」とともに立体再現した「システーナ・ホール」の迫力は必見です。

大塚国際美術館

- 住所：徳島県鳴門市鳴門町 鳴門公園内
- TEL：088-687-3737
- FAX：088-687-1117
- <http://www.o-museum.or.jp/>
- 開館時間：9時30分から17時（入館は16時まで）
- 休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）
正月明けに連続休館あり／8月無休
- 入館料：小・中・高生 540円 ※4/1より改定
大 学 生 2,160円
一 般 3,240円
*20名以上の団体は10%割引

●アクセス

- ・鳴門北ICから車で約3分
専用駐車場より無料シャトルバス運行
- ・高速バスにて（高速鳴門まで）
JR大阪駅より約2時間10分／JR新神戸より約1時間35分
- ・路線バス「鳴門公園行」にて「大塚国際美術館前」下車
JR徳島駅より約60分、JR鳴門駅より約15分、
「高速鳴門バス停前」「小鳴門橋」バス停より約15分、
「徳島空港」バス停より約30分



環境展示：「システーナ・ホール」

《本件に関するお問い合わせ先》

大塚国際美術館 学芸部 土橋加奈子／山側千紘

TEL：088-687-3737 FAX：088-687-1117 e-mail：info@o-museum.or.jp